

下野市立石橋中学校

1 学校課題 「主体的に問い続ける学習者の育成」

～論理的思考を基盤とした課題発見・課題解決の学習の推進～

本校の目指す学校像は、「生徒も先生も自ら輝く学校」である。急速に変化していく現代社会を生き抜いていくためには、「主体的に問い続ける学習者」を育成することが必要である。そのために「自ら課題を見つけ、個人では解決できないような問題にも級友と協力して取り組み、自律的に解決していける生徒」の育成を目指したい。

2 研究計画

「主体的に問い続ける学習者」を育成するためには、「レベルの高い課題（一人では容易に解決できない課題、知的好奇心をゆさぶる課題）」を提示し、仲間と協働して解決する過程を通して、「主体的・対話的で深い学び」を実現することが必要である。そのために以下の3点を柱に研究を行っていききたい。

- ・「レベルの高い課題」の研究と授業での実践
- ・「課題設定→情報収集→整理・分析→まとめ」という授業展開の実践
- ・家庭学習の充実ための実践

3 研究内容

(1) 教員の授業力向上に関すること

①一人一公開授業

今年度も昨年度に引き続き異教科異年齢4人の班を構成し、1人1公開授業及び15分間程度の授業研究会を実施した。公開授業の実施にあたっては、学校課題の「論理的思考を基盤とした課題発見・課題解決の学習の推進」を意識した課題を選び授業を行った。



【S&Uコラボでの授業の様子】

②教科部会（時間割に位置付け）

異教科から学んだ多様な視点を縦軸、教科で専門的に話し合うことを横軸とし、縦横相互に連携・補完し合えるよう教科部会を時間割に位置付けたことで、教員の研修への意欲も高まり、授業力の向上が図られた。

③総合的な学習の時間でのゼミ活動

臨時休業中に例を示した上で、生徒に「課題の設定」「その課題を設定した理由」「情報収集の方法」を考えさせる総合的な学習の時間の課題を出した。提出された課題を確認することで、教師が「課題設定→情報収集→整理・分析→まとめ」のサイクルをさらに意識して、総合ゼミの授業を行うことができた。

④校内研修やS&Uコラボ研修会

「学び合い」の授業を行う上で、教師としての必要なスキルをアップするための校内研修やS&Uコラボ事業による研修会・授業研究会を実施した（国語）。専門的な視点からの指導助言を得ることで、新たな知識や最新の教育理論を学ぶことができた。

⑤授業アンケート（マークシート方式を導入し集計などはスキャナー活用）

年1回授業アンケートを以下の流れで全教員に実施した。①授業を生徒が評価する②結果を数値化し、自分の授業の強み弱みを知り授業改善に生かす。教師は生徒の学びを常に意識した授業作り、そのための学習課題の重要性を再認識できた。

⑥ローテーション道德

ローテーション道德を実施した。同じ教材の授業を複数の学級で行うことで授業改善を図ることができた。また、同僚の授業を参観することを通して、道德の授業力向上の研修にな

った。

⑦石中教育フォーラム

年度末の校内研修として、全教員が個人レポートを作成し、それをもとにこの1年間の日々の授業や公開授業、研修などで学んだことを共有化し、1年間の成果と課題を話し合う石中教育フォーラムを実施した。

(2) 生徒の学力向上に関すること

①石中タイムを活用しての自主学习

本校は家庭学習の習慣化に課題がある。そこで、家庭学習の習慣化と自分に合った学習方法の確立を目標に、毎朝15分間の自主学习を実施した。

②学習プリントコーナー

受け身の学習から、主体的に学習に取り組む生徒を育成することを推進するために、各学年の廊下に学習プリントコーナーを設置して、生徒が自主的に学習を進めることができるように工夫した。

③数学の朝学習

数学が苦手な生徒が多いという本校の課題を克服するために、毎週火・金の石中タイムの時間に、希望者のみ参加する時間を設け、復習を行った。常に数学科の教員と複数の教員が担当して学習をサポートした。

④生徒から生徒への啓発（学習委員会の生徒）

学習委員会の生徒による学力向上を呼びかける活動を実施した。特に毎日のパワーアップノート（自主学习ノート）の提出を促進させ、家庭学習の習慣化を推進する活動を行った。

⑤学習集会

計画を立てて学習に取り組むことに課題がある。そこで、学ぶ理由や夢や目標を実現するための家庭学習の大切さについて説明する学習集会を実施した。

4 本年度の成果と課題

(1) 成果

学校全体として、生徒が容易に解決できない課題、知的好奇心をゆさぶる課題を各単元に1回は設定し、ペア学習やグループ学習による対話を通じた深い学びを実践するための取り組みを行ってきた。こうした「レベルの高い課題」の授業について、全教員が公開し、授業研究会を各グループで行うなど、授業力向上のための実践を行うことができた。また、「学び合い」の授業の基盤となる「学級づくり」については、生徒によるアンケート結果で、「先生は、良いところを認め、頑張るよう励ましてくれる」が5段階評価で平均4.5。「クラスは活気があり、明るくいいきとし、みんな協力し助け合って学習や生活できる雰囲気である」が平均4.6と高い評価であった。

(2) 課題

「主体的に問い続ける学習者」の育成を学校課題として、様々な実践を行ってきたが、アンケート結果で、「自分で計画を立てて学習に取り組んでいる」が平均3.6であった。自分の夢や目標を実現するために、主体的に課題を見つけ、計画を立て、実行する力を伸ばすための取り組みを研究し実施していくことが課題である。授業や宿題・自主学习を一体のものとして、「課題設定→情報収集→整理・分析→まとめ」ができる生徒を育成するための研究を深めていかなければならない。